夏の青春の一コマ！野球応援が近づく

また夏の風物詩が戻ってくる！＝山日YBS球場

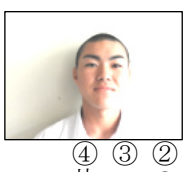
今年も野球応援の季節がやってきた。今年は若鶴祭での吹奏楽部の発表・有志発表、さらには壮行会にて応援の準備もばっちりだ。今回はベンチ入り野球部員を紹介したい。

夏の高校野球開幕

質問項目①名前②背番号③ポジション④チャームポイント

①**羽鳥梓**（３年１組）②１③ピッチャー④オナラ百発百中

①**田中武蔵**（３年２組）②２③キャッチャー④耳たぶが柔らかい



①**加藤諄也**（３年５組）②３③ファースト④片目二重

①**長田直太朗**（３年２組）②４③セカンド④左ほっぺのえくぼ

①**小松遼翔**（３年３組）②５③サード④つむじ

①**宮下侑樹**（２年５組）②６③ショート④たまに出る三重

①**佐藤海斗**（３年１組）②７③レフト④手長ザル

①**西室健太**（３年１組）②８③センター④頭

①**長谷部慶**（３年２組）②９③ライト④おにぎり頭

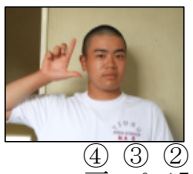
①**笠井敦仁**（３年５組）②10③レフト④ヘアドネーション目指してます

①**滝口凌央**（３年３組）②11③ピッチャー④まつげ

①**小林航**（２年５組）②12③キャッチャー、セカンド、サード④５厘

①**山口蒼太**（３年１組）②13③ファースト④鼻が高い

①**渡辺快**（３年２組）②14③センター④背が高い



①**坂本昴**（２年３組）②15③ピッチャー④肩幅

①**加藤由馬**（３年４組）②16③ライト④話し方が優しい

①**岡部道大**（２年２組）②17③セカンド④目元のホクロ

応援に向けての注意事項

☆．ホイッスル（ブブセラを含む）や属物、ペットボトルの打ち鳴らしは禁止。拍手での応援、メガホン（Wメガホンは使用禁止）を２つ使用しての打ち鳴らしは可。

　ただし，地面や手すりを叩かないこと。

☆．靴・裸足にかかわらず，椅子の上に立ち上がっての応援は禁止。

☆．試合前、５回終了後のグラウンド整備の際は、場内アナウンスの妨げになるような応援はしない。

☆．危険防止のため，グラウンドとスタンドの境のフェンスに寄りかかったり，もたれたりしない。

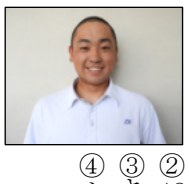
☆．通行の妨げにならないように，通路に荷物を置かないようにすること。

☆．ゴミを球場に残さないこと。

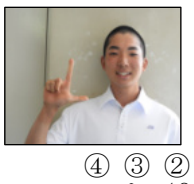
野球応援予定

2回戦対富士学苑
7月11日（火）12時
富士北麓球場
（３年次生応援）

3回戦対東海大甲府（予想）
7月15日（土）11時
山日ＹＢＳ球場
（全年次自由応援）



①**小高温人**（１年５組）②18③キャッチャー④まん丸な顔



①**天野友翔**（２年５組）②19③レフト④一重

①**清水陽平**（２年５組）②20③ファースト④キレのあるスライダー

みんなの応援で都留高野球部を後押しください。野球応援にはこの新聞を持って応援に行こう！。

自学進取

今年の都留高の学園祭「若鶴祭」が終わった。今年はテーマソングをアンケートで決定し、Mrs green appleの「青と夏」に決まった。その歌詞に一部には「夏が始まった合図がした　傷つき疲れるけどもいいんだ　次の恋の　行方はどこだ　映画じゃない　主役は誰だ　映画じゃない　僕らの番だ」とある。まさに青春そのものを表したような歌詞だ。合唱コンクールを制したのもBブロック青であった。ところで、21世紀研究会編『色彩の世界地図』（文藝春秋）によれば、青は、方角で云えば東を意味する。「それは生命の息吹を想像させるから、植物の色である青にふさわしい」とある。ちなみに「南は、日当たりがいい温かい場所だから火、赤」「西は金（白）に通じ、もっとも身体を冷やす水よりはまだ暖かみがあるので、太陽が沈んで冷え込む西と結びつけられた」「北は水で黒、水は身体を冷やす、冷たいというイメージがあった」ようだ。季節でいえば「青は春、夏は朱（赤）、白は秋、冬は玄（黒）」となる。今年総合優勝したブロックDブロックでカラーは黄色であった。黄色は「古代中国の陰陽五行説では、世界の中心の色、中国の大地の色」である。来年は何色のブロックが輝くのか。今から楽しみだ。（顧）

都留高ニュース

発行所
山梨県立
　　都留高等学校
大月市
　　大月２丁目11-20
編集
都留高校新聞同好会

取材・広告
希望の方は
新聞同好会
（木内）まで

第68回若鶴祭 〝復活と進化〟の若鶴祭

6月27・28日の二日間にわたり、都留高校の学園祭である「若鶴祭」が行われた。新型コロナウイルスによる制限が緩和された今年の文化祭は、復活した部門と新しく誕生した部門が共存する学園祭となった。今回の種目や結果は以下の通りである。

今年度の学園祭では、コロナウイルスによる制限が緩和されたことで「合唱コンクール」が4年ぶりの復活となったほか、スマートフォンの使用許可が初めて出された「フォトスポット（合同企画）」も行われ、1、2、3年次からなるブロックが競いあう、気合のこもった若鶴祭となった。

今回、総合優勝を勝ち取ったのは、3年4組、2年5組、1年2組が所属するDブロック。多くの部門で入賞し、総合優勝の発表時には大歓声が上がっていた。中には立ち上がってガッツポーズをする姿も見られた。

また、今回初の実施となったフォトスポットの展示は、昼休みのみの開放や、一定時間ごとのグループの入れ替えといったルールを設けられていたが、それにもかかわらず、両日ともに各フォトスポットには長蛇の列ができていた。生徒たちは手作りしたうちわやボードを掲げて楽しそうに撮影しており、どのフォトスポットも大盛況だった。今後の若鶴祭でも目玉企画のひとつになりそうである。

優勝したブロック長の笹原拓海さんは「初めての経験だったので、みんなをまとめることが大変で指示もうまく出せなかったが、みんなが協力して支えあったおかげで優勝できました。壁をなくせるようフレンドリーに話しかけることを意識しました。体育祭でももちろん優勝したいです！」と意気込んだ。（文責1年）

笠原拓海さん

優したBブロックの合唱

若鶴祭結果報告

クラス旗（1年）
- 1位D（1－2）
- 2位A（1－5）
- 3位C（1－1）

クラス旗（2年）
- 1位D（2－5）
- 2位E（2－2）
- 3位A（2－4）

クラス旗（3年）
- 1位E（3－5）
- 2位C（3－3）
- 3位D（3－4）

合同製作（フォトスポット）
- 1位D　2位B　3位E

動画発表
- 1位D、E　3位B

合唱コンテスト
- 1位B、2位C　3位D

シンボルマーク
- 1位A　2位E　3位B

クラスTシャツ（1年）
- 1位　D（1－2）

クラスTシャツ（2年）
- 1位　D（2－5）

クラスTシャツ（3年）
- 1位　E（3－5）

総合
- 1位D　2位E　3位B

今注目の人

今回はインターハイ予選で韮崎高校を破り3位入賞を果たした女子バスケットボール部の長谷川凜花さん、浅川夢恵さんにお話をお伺いしました。

Q1、インターハイで県ベスト4に入った感想を教えてください。

ー今まではベスト4決めで負けていたけど、3年生最後の大会で3位という結果を残すことができ、全員の努力が実を結んだと思います。試合に出ている人も出ていない人も全員が同じ気持ちを持ち、練習でやったことを全員で徹底したことで繋がった勝利なのでとても嬉しかったです！

長谷川凜花さん、浅川夢恵さん

Q2、どんな方法で練習してきたか教えてください。

ー練習をする自分達が練習の質と量を作るという意識を持って練習しました。先生に頼りっぱなしではなく、練習が始まったら緊張感のある雰囲気作りを全員が心がけ、練習中は先輩、後輩関係なくプレーについて言い合うようにしていました。背が小さいチームだったので中にボールを入れさせないことや、ルーズボールやアウトとリバウンドを徹底して練習しました。

Q3、一、二年生にメッセージをお願いします。

ー人数が半分以下になってしまって大変だと思いますが、これからどんなに強い相手と戦っても自分達のバスケを証明できれば勝てると思うので、これからも頑張ってください！県優勝の報告を待っています！！

（文責2年新聞同好会）

「三年間新聞の新聞作り」

一年生の四月、高校から新しいスポーツをする勇気が出ずに、文章を書くことが好きという理由で入った新聞同好会。入会した当初は同級生がおらず、先輩方と協力して都留高ニュースを届けていました。3年間の新聞作りで大月市役所や大月駅付近の飲食店、今注目の人などへの取材を通して、改めて人と会話をする事の楽しさや面白さ、それを伝えることが出来る喜びを感じる事ができました。二年生の夏に参加した全国高等学校総合文化祭東京大会は私の高校生活で大きな思い出の一つとなりました。全国から集まった高校生と一つの新聞を作り上げる中で、新聞作りに対する知識や熱量を感じとても刺激を受けたのを覚えています。二年生から同級生四人が新聞同好会に入り、インタビューを中心に積極的に活動してくれています。

昨年、五人で参加した山梨県高等学校芸術文化祭で、コロナ禍の影響で四年ぶりの開催となったパレードのチアリーディングへの記事は、五人で協力して完成させたとても良い思い出です。

私は毎朝新聞に目を通します。ネット社会である今、ほとんどの人がスマートフォンでは自分の興味関心のあるコンテンツしか見ないと思います。しかし、朝新聞に目を通す事で、世の中で何が起きているのか、私たちが生きるリアルでは何が起きているのかを客観的に知る事ができます。新聞の一枚目を見るだけでも世の中を見る視野が広がります。その一歩目として、私たちの発行する新聞を読んでいただけたら嬉しいです。これからの都留高ニュースも、よろしくお願いします。

（文責3年竹）

シリーズ―都留高新聞の歴史⑨

70年前の学園祭は・・・

昭和31年8月10日の都留高新聞では「第一回学園祭迫る　文化面を中心に（十月）」という見出しから記事が始まる。「去る七月四日総務委員会の席上に於いて決議された、第一回学園祭は来る十月十九、二十、二十一日の三日間にわたって行われる予定である。昨年は東西校舎合併記念として文化祭が開かれ、又体育局に於いては、例年通りの校内体育大会が実施された。しかし、学園祭を盛大に行うには、体育文化両局を切り離さずに、両局盛大に行うという事が、総務委員会や全校生徒の念願であった。しかし、その裏には文化局の猛烈なる反対があった。どうしても文化体育両局を合併すると、体育局一方が注目される様な傾向であるのではないかと云う事が反対の第一理由であつた。・・」

今年行われた学園祭は第68回であった。その第一回の記事に出会えたことは大変意義深いものであった。

都留高新聞
第一回 学園祭迫る！
文化面を中心に十月
早くなつた就職試験
昭和31年８月１０日の1面